

令和5年度 調布市立布田小学校 学校経営計画（学校長 横山 公一）

学校の教育目標	
○自ら考えくふうする子（知恵） ○けんこうでねばり強い子（勇気） ○なかよく助け合う子（優しさ）	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「子どもたち一人一人を大切にできる学校」	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<p>子どもたちの個性や願いが大切にされ、かかわるすべての人が互いに人権を大切にし、子どもたちが自分の居場所を感じられる学校、「子どもたち一人一人を大切にできる学校」を目指す。</p> <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇各学年・学級は落ち着いていて、真面目に学習に取り組む様子が見られる。テストで測る学力は高めである。 ◆主体的に学習に取り組んだり、対話を通じて学ぶ経験値が十分でない。 ◆体力の向上は急務である。 ◇おだやかで協力的な子どもが多く、大きな事故などは少ない。 ◆小さな集団にまとまりがち、粘りやこだわりが欠ける面がみられる。逆境に弱い。
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1 自律した行動のとれる判断力と、豊かな心をさらに醸成する。 2 主体的に粘り強く学ぶ気持ちを大切にし、ICT や対話という手段を各教科学習において重要な活動と位置づけ、学力の向上を図る。 3 健康保持・体力増進のために考え、判断する力と積極性を育てる。 4 安全・安心な学校生活を確立する。 5 子どもたち一人一人の個性や特性を大切にしながら、一人一人が自己有用感を持ち、自分に自信を持てるような活動を展開する。 6 保護者・地域の教育力を活用して学校の教育活動、児童の安全確保を充実させる。 	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 互いの良さを認め合う活動や、思いやり・誰かのために自分を生かす行動を称えあう活動などの日常化を図る。	① ICT を効果的に活用しつつ、児童が互いに対話したり協働したりしながら学ぶ経験値をさらに高める学習指導を工夫し展開する。	①なわとび・持久走期間の取組を充実させ、運動技能や体力を育てるとともに、運動への関心を高める。(全学年)
② 音楽鑑賞、伝統芸能鑑賞・体験等文化文芸活動の充実を図るとともに、日々の読書指導、読書旬間、異学年交流を通して互いを知り、自覚を高めたり、尊敬の心を育んだりする。	② 校内研究で、国語科「聞きたい・伝えたい・深めたい」授業を構築する(通年)。授業研究(年6回以上)	②体育の授業、休み時間の外遊びの推奨など熱中症対策、感染症対策に十分留意した運動の機会の充実を図る。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①保護者アンケートで、文化的活動や読書に関する肯定的評価 80%以上。	①保護者アンケートで、学力の定着に関する肯定的評価 80%以上。	①保護者アンケートで、健康に関する肯定的評価 80%以上。
②保護者アンケートで、友達と認め合うことに関する肯定的評価 80%以上。	②保護者アンケートで、国語科指導に関する肯定的評価 80%以上。	
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 安全・安心な学校生活の確立	5 個性の尊重と伸長	6 保護者・地域の教育力の活用
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①感染症予防、アレルギー対応のルールを確実に実施する。(通年)	①特別支援教室専門員・スクールサポーター等による授業補助や個別指導を行い、個別最適な学びを目指す。	①PTA 行事や地域行事について、保護者・地域と連携して活性化を図る。
②定期的な状況把握、いじめ防止対策委員会の組織的な対応を行い、未然防止と早期解決を図る。(通年)	②指導教諭・専門家等による研修会やアドバイスなどを通して、各学級で児童・保護者への支援を充実させる。	② 見守りアテンダント等の協力を得て、防災・防犯、交通安全の協力を得る。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①アレルギー事故0件	①②保護者アンケートで、相談・対応に関する肯定的評価 80%以上。	①漢字検定・盆踊り等の実施。学校関係者評価委員会における肯定的評価。
②発見したいじめ案件の解決 100%。		②交通事故、犯罪被害0件。

人材育成・組織運営
<ul style="list-style-type: none"> ◇面接を通じて、主任教諭の役割の自覚を高める。 ◇指導教諭、OJT 担当をリーダーに校内研修会を開催し、教員の資質向上を図る(月2回程度)。 ◇業務の効率化、職員のライフワークバランス改善を目指し、会議・業務等を整理削減する。SSS や副校長補佐を計画的に活用する。